

# 記入例 III

## 免許証書替申請書

免許証に記載されている  
氏名を変更した方

① ③と記入して下さい。

現在の氏名を記入して下さい。  
記載内容等について照会する際に必要です。

で、屋間電話で連絡の取れる電話番号・携帯電話番号等を記入して下さい。また、会社の場合は部署名・内線番号を記入して下さい。

③④ カタカナで左からつめて書いて下さい。  
⑤ 町域番号まで正確に記入して下さい。  
⑥ 左端の□枠内に、該当する元号の番号を記入します。年月日は、それぞれ枠が二つずつ並んでいます。1桁の数字は左側の枠を空欄にし、右側の□枠内に記入します。

⑦-1 旧姓を使用した氏名又は通称の併記を希望する場合は2を、希望しない場合は0を記入して下さい。

⑦-2 併記を希望する氏名等を記入して下さい。

⑧ 申請書裏面のコード表を見て記入して下さい。

変更前の氏名を記入して下さい。

⑨ 労働安全衛生法に基づく他の免許を持ついる場合には、今回申請する免許証と統合のうえ新しい免許証が交付されますので、1と記入し、免許の種類に○をつけ、別紙の所持免許申告欄に必要事項を記入して下さい（16ページ参照）。

※再交付と書替を行なう場合は、①「申請の区分」は③と記入し、記入例II（7ページ）に示した事項も併せて記入して下さい。

〔申請書裏面については〕  
〔15ページ参照〕

② 記入しないで下さい。

写真は次のものを1枚貼って下さい。  
寸法は横24mm×縦30mm（運動免許証サイズ）

・寸法は横24mm×縦30mm（胸から上）、正面、着衣、脱帽、無背景

・申請前6か月以内に撮影したもの

・鮮明で変色の恐れのないもの

・※また、写真の裏面に必ず氏名を記入して下さい。

なお、次のような写真は撮り直しをお願いする場合があります。

・指定の寸法や規格を満たしていないもの

・サングラスやヘアバンド等により顔の一部が隠れているもの

・デジタル写真的品質に問題があるもの

・変色や傷があるもの

・写真専用紙以外の用紙に印刷したもの

詳しくは、P26を参照して下さい。

住所地以外（勤務先など）に免許証の送付を希望される方は、当該送付希望先の住所、会社名、電話番号を記入して下さい。住所地への送付を希望される方は、この欄に記入する必要はありません。

詳しくは、P26を参照して下さい。

住所地以外（勤務先など）に免許証の送付を希望される方は、当該送付希望先の住所、会社名、電話番号を記入して下さい。住所地への送付を希望される方は、この欄に記入する必要はありません。

詳しくは、P26を参照して下さい。

住所地以外（勤務先など）に免許証の送付を希望される方は、当該送付希望先の住所、会社名、電話番号を記入して下さい。住所地への送付を希望される方は、この欄に記入する必要はありません。

なお、受取人の名前は、必ず免許申請者の氏名が印字されます。免許申請者以外の方が受取人になることはありません。

記入しないで下さい。

書替する免許証について記入して下さい。

・カードタイプ（ラミネートタイプを含む）の免

許証の場合

⑯に免許証番号を記入

・二つ折りタイプの免許証の場合

⑰に免許の種類コード、⑱に「交付局コード」（裏面のコード表参照）、⑲に「免許証番号」、⑳に交付年月日を記入して下さい。

申請先 申請者の住所を管轄する都道府県労働局（免許証の交付を受けた都道府県労働局でも可）の健康安全主務課（P29～P30参照）

## ○申請書類記入等チェックリスト

○申請書類記入等チェック欄		
①	<input type="checkbox"/>	記入漏れはありませんか？
②	<input type="checkbox"/>	免許証用写真の裏面に氏名を記入し、申請書ごとに貼付しましたか？
③	<input type="checkbox"/>	各申請書の裏面に収入印紙 1,500 円分を貼付しましたか？（消印をしないで下さい。）（15 ページ参照）

## ○添付書類チェックリスト

### ○必ず添付するもの

添付書類	備考	必要となる場合
専用の免許証送付用（「返信用」と書かれた）封筒	この申請書類一式に同封されている茶色の窓空き封筒です。（住所等は記載しないで下さい。（免許証発行時に申請書に記載された希望先のご住所と免許取得者氏名を印字いたします。）なお、専用の窓空き封筒をお持ちでない場合は任意の封筒でも使用できます。ただし、その場合は氏名、住所を記載して下さい。	○他の労働安全衛生法関係の免許を持つている場合 ※現在所持している労働安全衛生法関係の免許証を全て提出してください。今回申請する免許証と統合した上で新しい免許証を交付します。提出された免許証は、新しい免許証発行後、ご本人に返却されず、処分されます。 ※技能講習修了証ではありません。
免許証送付用切手460円分（※）	①の免許証送付用封筒に貼付して下さい。 (※) 令和6年10月1日現在の郵送料と簡易書留料金です。	○旧様式（二つ折りタイプ）の労働安全衛生法関係の免許証を所持している場合。 (申請書の項目番号⑯に1を記入した上で、所持免許申告欄の記入・添付が必要)。
書替する免許証	提出された免許証は、新しい免許証発行後、ご本人に返却されず、処分されます。 ※新免許証が発行されるまでの期間、又は発行後手元に残すことを希望される方は、最寄りの労働基準監督署又は都道府県労働局で原本確認の証明を受けた免許証の写しを取得し、申請時に添付して下さい。原本確認證明の発行手続については、最寄りの労働基準監督署又は都道府県労働局にお問い合わせ下さい。詳しくは18ページを参照して下さい。	○住所を変更した場合 ※住民票の写しの場合は、本籍地の記載がないもの又は本籍地をマスキング（黒塗り）したものとして下さい。
氏名を変更した事実が分かる証明書 (17 ページ参照)	変更前の氏名が記載された住民票の写し（市区町村から発行された原本で個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）、戸籍抄本等で氏名を変更したことが確認できるもの ※本籍地の記載がないもの又は本籍地をマスキング（黒塗り）したものとして下さい。	○本人確認証明書（17、28 ページ参照）
添付書類	添付書類	
⑤	労働安全衛生法関係の免許証（原本） <input type="checkbox"/> ※現在所持している労働安全衛生法関係の免許証を全て提出してください。今回申請する免許証と統合した上で新しい免許証を交付します。提出された免許証は、新しい免許証発行後、ご本人に返却されず、処分されます。 ※技能講習修了証ではありません。	
⑥	所持免許申告欄（16 ページ参照）	
⑦	本人確認証明書（17、28 ページ参照） <input type="checkbox"/> ※住民票の写しの場合は、本籍地の記載がないもの又は本籍地をマスキング（黒塗り）したもの、個人番号（マイナンバー）が記載されていないものとして下さい。 ※④と共にても構いません。	

※氏名を変更した場合は、法令上免許の書替が必要となります。